

## 令和2年度第2回 沼津市総合教育会議 議事録

○ 開催日時 令和2年10月23日（金曜日）15時00分～15時55分

○ 開催場所 沼津市役所水道部庁舎3階会議室

○ 出席者 市長 頼重 秀一  
教育長 奥村 篤  
教育委員 重光 純  
教育委員 三好 勝晴  
教育委員 土屋 葉子  
教育委員 川口 浩史

○ 協議・調整事項  
沼津市教育大綱の策定について

○ 報告事項  
新型コロナウイルス感染症への学校の対応について

- ・図書カードの配布及び読書感想文（画）コンクールの募集
- ・沼津寺子屋の実施（令和2年7月2日～令和2年9月末）
- ・夏休み期間の短縮による授業日数の確保と行事の実施
- ・国の「GIGAスクール構想」の前倒しに伴う1人1台端末の導入準備

### 【内容】

#### 1 開会

#### 2 出席者紹介

#### 3 協議・調整事項

##### 沼津市教育大綱の策定について

沼津市総合教育会議設置要綱に基づき、座長である市長が行う。

（市長）

教育大綱は、法律に基づき、総合教育会議において教育委員会と協議をした上で、最終的に、私、市長が定めるものである。策定に向け、昨年度から協議を重ね、準備をしてきたが、本日、この会議での協議結果を踏まえた上で、決定することとしている。

前回7月に開催した総合教育会議では、教育大綱の素案を示し、皆様から御意見をいただいた。その後、8月から約1か月間、市民の皆様の御意見を伺うためのパブリック・コメントを実施した。大綱（案）に対する御意見はなく、この結果を受け、パブコメ案への加除修正は行わず、教育大綱（案）としてまとめた。

改めて、新しい教育大綱（案）について、御説明する。説明後、皆様から御意見をお聞かせいただきたいと思います。

教育大綱（案）について、次の内容を説明

大綱の目的
○目的
誇り高い沼津を創造する 貴（たか）き志を持つ人づくり
○基本方針
1 人間力を磨く教育
(1) 確かな知性の育成
(2) 豊かな心の育成
(3) 健やかな体の育成
2 地域総がかりで取り組む教育
(1) 地域が学びを育て、学びが地域を育てるまちの推進
(2) 生涯を通じた学びの推進
(3) 人づくりとまちづくりの一体的な推進

(市長)

大綱（案）について、御意見・御感想等、いかがか。

(教育長)

過日開催された市議会9月定例会の一般質問において、「沼津市教育大綱（案）と大綱（案）を踏まえた本市の教育」について御質問いただいた。パブリック・コメントでは、特段御意見等なかったが、議会で質問をいただき、本日もこのように多くの議員の皆様、そして、校長先生方にお越しいただいていることから、教育大綱が非常に注目され、沼津市のこれからの教育に、これまで以上の期待を寄せていただいているものと感じたところである。

(委員)

これまで、いろいろな話し合いをさせていただき、今日、この案として出しているが、本当に市の教育の理念として頼重市長らしく、言葉とすれば、誇り高い沼津を創造する貴（たか）き志、この貴きがポイントである。非常によいのではないかと思う。地域総がかりで取り組む教育の部分で、今はSNSを通じて人間

の関係を作るという新しい考え方もあるが、やはり、人と人とが会ってという部分もとても大切なので、コミュニティ・スクールということも、今、実際に始まっており、地域総がかりで取り組む教育ということを挙げているということが、とてもよい題目ではないかと思っている。是非このまま、進めていただけたらよいと思う。

(委員)

本当にバランスのよい大綱になったなという感想である。そして、特に地域総がかりで取り組む教育というところで、「地域が学びを育て」という部分のはじめに、「郷土への誇りと愛着、地域社会の一員としての自覚を促すためには、本市の豊かな自然や歴史、文化を誇るべき宝として認識することが重要」とあり、とてもよい目標だと思っている。今朝の新聞にも出ていた御用邸記念公園のイベントでの白洲さんと近衛さんのお話の中にも、これからの沼津をよくするにはどうしたらよいか、という市民の質問に、教育であると白洲さんがお答えになっていた。この素晴らしい自然と素晴らしい文化のある沼津市をもっともっと世の中に広めていただくことが、沼津市を更に発展させること、そして子供たちの教育は、20年30年先の沼津を素晴らしいものにしていくとても大事なものである、というお話があった。外から見ている方の意見としても、沼津をこのように感じていただいているのであれば、中にいる我々ももっと頑張らなくてはいけないなという気持ちになった。そのような意味でも、とても素晴らしいと思う。

(委員)

将来、社会の情勢がどうなるか分からないが、強く生きていって欲しいという願いを親として持っている。人間力を磨く教育と地域総がかりで取り組む教育ということで、そういった人間を育てていけるようなことを目指しているのは、非常によいとは思いますが、実際、教育現場でこういうふうに育てて欲しいということを教えなければいけない。我々大人自身が、そういう人間にならないと、そして、自分たちが、子供たちにこうなって欲しいと思えるような人間になる努力をしない限りは、子供もついてこないものである。地域総がかりといっても、我々も地域社会の一員として、子供たちを支えるようにそこに参加しなくてはいけないという責任を伴っているものである。教育大綱でこういういいことを言っているのはよいのだが、それに見合うだけの大人に、地域社会に、我々がならなければいけないということである。責任というか、今後、私自身が努力をしないといけないという思いを強くした。やはり子供に本を読めと行って、自分がスマホばかり見ていたら、何の説得力もない。子供にこうなって欲しいという思いで、大人の自分が努力を今後も積み重ねていかなければいけないという身が引き締まる思いがした。

(委員)

よい大綱であると思う。感想のような形になってしまうが、人間力を磨く教育の中に、豊かな心の育成があり、そこにも書かれているが、我々が育った社会とは全然変わってきている中で、さらに、近年であれば新型コロナであったり、また新たな混乱をさせてしまうもとが出てきたりしている。そのような中で、子供たちは強く育っていかなければならないので、やはり豊かな心というものは、すごく根本として必要ではないかと思うので、非常にここが共感できる。教育大綱に関わらせていただいて、市長の思いやビジョンが、それこそ市民の皆さんに伝わっていく何かがあると、施策も進めやすいのではないかと思う。

(市長)

この教育大綱が、いろいろな議論を積み重ねることによって本日を迎えているということは、私の考え方ももちろん採用させていただいたが、本当に皆様と議論を行った結果である。

やはり教育大綱の理念、これをいかに具現化していくかということが非常に重要であると考えている。今後、教育委員会として、そのあたりのところを、どのように進めていくのか、教育長に少し触れていただければと思う。

(教育長)

その前に、私も少し感想を述べたいと思う。世間で言われている人生 100 年時代、この世の中を、やはり健康で、そして心豊かに生きるということは、誰もが願っているものだと思う。グローバル化やデジタル化の急速な進展に伴って、非常に複雑で予測することが難しい社会であるからこそ、その変化を前向きに受け止め、複雑化・困難化した社会の課題に対して、主体的な学び、あるいは多様な人とのかかわりを通じて、その解決につながる新たな行動を生み出すことが求められていると捉えている。これらのことを踏まえて頼重市長が策定した教育大綱については、教育長として、これまで育んできた、生きる力、あるいはその中で、重視されてきた知徳体の育成など、その理念を継承して、未来社会を逞しく、そして、しなやかに生きる力を育むこと、これこそ人間力を磨く教育として捉えて、貴い志を持って、自らの可能性に挑戦する人づくりを、そしてそのために必要な力を確実に育んでいくことが使命であると感じた。また、子供や家庭を取り巻く環境は、課題が複雑化・困難化している中で、学校だけでは解決することがもう限界にきていると思う。これからは、家庭や学校、地域が、共に力を合わせて協働して課題解決を図ることが、鍵を握っており、現在、本市で進めているコミュニティ・スクールが、重要な役割を担っていくと思っている。沼津市の未来を担う子供たちが、地域の幅広いつながりの中で学び続けながら、新しい時代に求められる資質・能力を身に付けていくには、やはり地域総がかりで子供たちの学び、成長を支えていくことが必要になると

思う。このことは、子供たちが自分らしく社会に参加する力を育て、同時に地域の絆も強めていくのではないかと思う。そこには、地域が学びを育て学びが地域を育てるといふ、双方向の関係が生まれるのではないか。地域総がかりで取り組む教育の推進も、やはりこれからの教育に課せられた大きな使命であると受け止めている。沼津の教育をより確かなものにするためにも、人間力を磨く教育、そして地域総がかりで取り組む教育を一体的に推進していきたいと感じているところである。それから、今後どのようにということでも市長から御質問があったが、大綱の目的あるいは理念、ビジョンを実現するために、現在、教育基本構想の策定に取り組んでいるところである。庁内には策定委員会を立ち上げて、市長部局、教育委員会の関係各課で策定に取り組んでいるところであるが、様々な分野で活躍する教育関係者である外部委員をメンバーとする策定懇話会を設けて、多方面から意見をいただいているところである。詳細については、事務局から説明したいと思う。

#### (事務局)

ただ今、お話があったとおり、大綱では教育の理念が示されている。この大綱の理念を具現化し、実際にどのような方向に向かって具体的に進めていくのかということも沼津市教育基本構想において示していくということになっている。まず、本市の教育基本構想については、平成21年1月に策定し、その後、社会状況の変化等を踏まえて、6年が経過する中で平成27年3月に改訂して、現在に至っている。今回、新しい教育大綱の策定に伴い、教育委員会ではその理念の実現に向けて策定を進めているところである。先ほど教育長からお話があったが、外部委員で構成する策定懇話会を組織して、学識経験者や学校教育、幼児教育、家庭教育、社会教育などの様々な分野で御活躍の教育関係者から、御意見をいただいているところである。今後、策定懇話会での協議内容を受けて、さらに検討を重ねた上で、12月から1月に掛けて広く市民の皆様から御意見を伺うため、1か月間の予定でパブリック・コメントを実施し、その結果を踏まえた上で、3月に新しい教育基本構想を策定する予定である。なお、内容については、協議中であるため、具体的に申し上げることはできないが、現在の教育基本構想については、構成が家庭教育、幼児教育、学校教育、社会教育、このように分類して組み立てているところである。今回、大綱において新しく理念が示され、知徳体の人間力、それから地域で進める教育と大きく2つの基本方針が示されているので、この方針に沿って教育基本構想を組み立てて、さらに具体的な指針となるように策定していきたいと考えている。

#### (市長)

この件について御意見等があれば、コメントいただきたいと思うが、委員の皆様方から何かあるか。特によろしいか。教育大綱について、貴重な御意見を本日も賜ったところである。振り返ってみると、教育大綱(案)をまとめるに際して、2年

ほど掛けて皆様方と様々な議論を重ねてきたところである。冒頭の目的、趣旨に「誇り高い沼津を創造する貴き志を持つ人づくり」を掲げ、委員の皆様からも「貴き」としたところがポイントであるとの御意見をいただいた。この地域の未来を担う子供たちに、しっかりとした志を持って勉学に励んでいただけるよう、その環境作りのための大綱について、しっかりと皆様と議論させていただき、本日を迎えられることができたと考えている。この大綱（案）については、本日、委員の皆様から特に修正や意見は出ていなかったことから、私のもとで所定の手続きを経て決定し、今後、公表させていただきたいと思う。

続いて、次第3の報告事項に移らせていただく。前回7月の会議で、ポストコロナ・ウィズコロナ時代の学校教育のあり方について、教育委員の皆様と意見交換を行わせていただいたところである。ここでは、その後の学校での対応について報告を受け、意見交換を行いたいと考えている。それでは、新型コロナウイルス感染症への学校の対応について、担当課から説明をお願いします。

#### (事務局)

新型コロナウイルス感染症への学校の対応について、御説明する。まず、図書カードの配布及び読書感想文・読書感想画コンクールの募集についてである。5月に、読書の推進と学習意欲の向上を図るため、沼津市立の全小中学生 12,663 人、沼津市立以外の市内在住の小中学生 543 人を対象に図書カードを配布した。その後、読書感想文と読書感想画を募集し、6月30日の締め切りまでに493点の応募があった。現在は、11月末予定の表彰式に向けて、三島市在住の絵本作家江頭路子氏を審査委員長とする審査を実施中である。本事業について保護者向けにウェブアンケートを実施したところ、6,395人から回答があり、そのうちの半数以上の方から読書の意欲づけに効果があったと回答をいただいた。また、この事業をきっかけに本を購入した方の割合は78.8パーセントで、そのうち今回配布した図書カードを使用した方の割合は95.8パーセントであった。自由記述の主な御意見としては、本事業については概ね好意的な受け止めをいただいていた。

次に、沼津寺子屋の実施についてである。本事業は、高校入試を控える中学校3年生に対し、学習内容の定着に向けた補習学習を実施するものであるが、これまでに各中学校において、数学・英語の補習学習をそれぞれ概ね3回実施してきている。講師について、数学は退職校長会の皆様、英語はALT及び英語指導者資格等を有するボランティアが担当している。9月末までに、数学・英語の補習授業に延べ1,347人が参加し、学校によっては、学校独自に教職員による補習学習を実施している事例も報告されている。今後、年明け1月末まで実施予定である。

次に、夏休み期間の短縮による授業日数の確保と行事の実施についてである。各学校では、授業日数の確保を図りつつ、児童生徒が知識の詰め込みにより、過度のストレスを感じることがないようにするとともに、学校行事等を通じた体験が、学

校生活における大切な節目の記憶となり、卒業後の進路等にも大きな影響を与えるものであることに鑑み、学校行事等を可能な限り実施できるよう、市立小中学校の夏休みを8月8日から17日までの10日間に短縮した。市立高中等部は8月8日から19日までの12日間である。その後も、感染状況の収束が見られないことに鑑み、小中学校では、安全確保を図りつつ、可能な限り節目の行事を実施できるよう、修学旅行や自然教室等を宿泊から日帰りに、また時期を変更した上で実施している。

最後に、国のGIGAスクール構想の前倒しに伴う1人1台端末の導入準備についてである。再度の臨時休業が必要になった場合にも、オンライン学習の実施等により学びの機会を止めないため、8月5日の市議会臨時会において端末等整備のための予算の議決を受け、9月7日に入札を実施した。9月市議会定例会にて児童生徒用Chromebook端末12,750台ほかの財産取得について議決をいただき、整備完了は年度末の予定となっている。なお、低所得者向けの貸出用モバイルルーターについても、整備に向けて準備中である。

(市長)

まだまだコロナ禍ということで、新しい生活様式を意識した、本当に様々な制限事項がある中において、学習保障や学校教育のあり方など、様々なことに一生懸命取り組んでいるところである。この4点については、市議会議員の皆様方の多大なる御理解と御協力、そして現校長先生方を始めとした現役の先生方、学校関係者の皆様方、特に退職校長会の皆様方を始め、地域の皆様方の御理解と御協力をいただき、実施できたことと思う。改めて心から感謝申し上げたいと思う。まだまだ予断を許さない状況の中、このような取組の報告があったわけだが、この点について御意見や御感想でも構わないので、委員の皆様から何かあれば、発言していただきたい。いかがか。

(委員)

今回の新型コロナウイルスは、まだ収束しているわけではないが、3月ごろから突然の休校になり、子供がずっと家にいて我が家も結構大変であった。何とか学校も再開して、今年度は夏休みを10日間にすることによって、何とかカリキュラムをこなすことができるということで、学校教育課や学校の様々な努力に対して大変ありがたく思っている。ただ、GIGAスクール構想の前倒し等もいろいろ盛りだくさんで、変化も大変大きいものであり、教職員の先生方に過度の負担にならないように、その辺のケアも心がけていただきたいと思っている。夏休みが短縮したけれども、エアコンが設置できよかったと強く思った。

(市長)

エアコンの件も、業者の皆様が本当に前倒しということで、子供たちのために一

生懸命頑張っていたいただき、相当早くできたという事実がある。これは、我々も学校サイドも教育委員会の方も一生懸命に取り組んだことであつたが、やはり現場で頑張っていたいただいた事業者の皆様のおかげということもあるので、この点を報告させていただいた。その他、いかがか。

(委員)

まずは、エアコンの設置について、重ねてよかった。全部の学校で夏休みに間に合ったという事で、本当に関係の皆様には感謝したいと思う。子供たちは、本当に助かったと思う。そして、今の4つの対策について現状を伺いたい。まず、まだコロナ禍であるから収束をしているわけではないけれども、現状の子供たちの様子であつたり、あるいは現場の特に先生たちの感じであつたり、どのような様子か。現場へ行ってなかなか聞くということができないため、様子をお聞かせいただきたいと思う。

(事務局)

学校は、従前のように、概ね落ち着いた学校生活ができていると考えている。学校では、朝の健康チェックから始まり、体温を測ってきていないお子さんについては体温チェックをしたり、また、放課後子供が帰ってからは、子供が使った道具又は触った部分を消毒したりするなどの対応をしているところである。授業の様子なども、やはり新しい生活様式に沿って集団での活動をなるべく避けるようにしている。例えば音楽の合唱などではまとまった形で歌わないとか、家庭科の調理実習等は当面行わず、映像等で確認をして家庭で実践していきたいとしているところではある。子供たちは落ち着いてきているが、やはり休校期間中、家庭で様々な負担を強いられているという部分もあり、幾分顕著な表れが出ているところがある。少し御報告させていただく。今朝も新聞等が出ていた、いじめ、不登校。こちらについては、概ね昨年通りの数字ではあるが、その中で不登校などの様子を見てみると、家庭の問題に起因してお休みになるお子さんが増えていると感じる。また、特に問題行動という中では、中学生の家出があり、この1学期や夏休み期間中にも多かったことから、その原因も家庭に起因している。さらに、教職員についても、心の問題や体調を崩して特休または休職を取っている教職員も例年に比べて多く、特休、休職に至らないまでも、怪我で公務災害等を請求する教職員も増えているという状況である。

(委員)

家庭の問題から起こる家出など、いろいろなコロナの影響がプラスされたことで、今までの状況が悪化している部分もあると思うが、学校の先生たちは、今まで以上にそういうところに神経を使うことが多いだろう。ただでさえ人数が十分にいと

いうわけではない。コミュニティ・スクールも出てきているので、地域も何らかの形で学校を助けていけると良い。徐々に先生たちも地域に頼るのではないか。あるいは意見をよく聞いて、また、本当に先生たちの助けになるような総がかりで教育ができればよい。やはり、とりあえず先生たちへのフォローをできるような何らかのことで差し上げればよい。直接的には難しいかもしれないが、まずはそういう現状のことを理解するということが非常に大切なことと思っている。

(市長)

先生方の御苦労という話の中に、先ほど GIGA スクールの話が出てきたわけであり、IT や ICT の関係、そういう取組を急遽進めなければならない状況である。確かプロジェクトチームが立ち上げられたという話を聞いている。その辺のことの報告があったら、よろしく願います。

(事務局)

GIGA スクール構想については、来年度初めには、子供たちが 1 人 1 台端末を授業の中で使えるようになる。そのためには、やはり、教職員一人一人がそのスキルを身に付けるということが大変重要になってくると考え、本年度、教育委員会の中にプロジェクトチームを立ち上げた。令和 2 年度中に研修を進め 4 月のスタートから少しでも授業で活用していけるように準備を進め、教職員研修センターが中心となって実際に学校に出向き、一人一人に研修を実施している。これまでの集合研修とは異なり、一人一人の研修ができるよう、このような取組を前倒しして進めているところである。

(教育長)

学校の様子について話す。長期にわたる休み明けには、やはり子供たちの生活のスタイルが、やや乱れた状態でスタートした。体力の低下については、エアコンの話もあったが、猛暑が続く中、運動会あるいはその練習等々で熱中症等を起こし、救急車で搬送される中学生が、今年は昨年よりも多かった。それから、コロナの影響で、例えば飲食業等のお店をやっている御家庭の中で、所得が思うように伸びずに御夫婦の中で不安感や緊張感があって、大声で口論となる場面を子供がかなり見ていて、それが嫌で家にいたくないという理由で家出をしてしまうケースがある。あるいは、小学生であると面前 DV だけではなく、ネグレクト的に食事をちゃんと食べさせてもらえないような虐待のケースも今年は若干多いのかと感じた。それから、休みがずっと続きステイホームだったので、子供たちが誰かとつながりたいということで、これまで以上に SNS の利用が増えた。今後、どのように変化していくのか把握していきたいところである。今日の静岡新聞の見出しは、19 年度の統計で不登校が最多ということ。県内では 6,281 人。小学校 3 年生、中学校 1

年生の進級で倍増と書いてあった。本市に関しては、中学校1年生では、それに該当するようなことがあるのだが、今年に限ってこのコロナだからといって不登校が増えているという事は、あまり感じられない。特に我々は、中学校3年生をすごく心配をしている。不登校の要因で一番占めるのは、不安・無気力というものだが、入試の範囲がこれまでと同じで変わらないという先日の通知を受け、中学校3年生あるいは先生方も、心の中は非常に複雑かと思う。かといって授業を早回しでやるわけにはいかないということで、先ほどから出ている中学3年生を対象とした沼津寺子屋が、少しでも精神的な安定や子供たちにとって学力の定着につながるよう、応援したいというところである。不登校については出現率ということで、新たな不登校を出さないということ、各学校で本当に頑張っている。そういった意味で今年は、やや頭打ちだというような報告を受けているところである。ただ、いじめについては、認知の件数がここ数年非常に増えている。これはよい意味で、先生方が子供たち一人一人をよく観察しながら、動きを見ながら、そして、アンテナをいつも高くしていることでもある。また、いじめの認知件数の増え方よりも、解消率の方が上回っており、初期対応を非常に丁寧にやっていただいて、確実に3か月間見取り、しっかりとアフターケアをしていただいているということである。県の様子は新聞報道のとおり増えているが、本市に関しては、今のそれには当たらない。

(委員)

うちにも3人の小中学生がいるので、親目線でお話をさせていただければと思う。施策に関しては、前回の総合教育会議でもちょっとお話ししたと思うが、図書カードに関してはものすごく感謝している。「意味がないというよりも何か出来るようなことがないかと考えていただいたことに、親として感謝している。」という意見には、まさに同感であり、非常にありがたかったと思う。一方、一人の親として非常に残念と思うのは、やはり季節行事が中止になったり縮小化したりしていることである。この現状は、仕方がないのだが、残念だと思う気持ちはぬぐえない。修学旅行に関しても、うちは6年生が1人いるので、修学旅行の年なのだが、中止せずに日帰りにしてくださったので、それがよい思い出になればと思う。新型コロナの中で休校があけて、子供たちが毎日検温をしたり、手洗いうがいをしっかりやっていたり、手指消毒をしていたり、マスクをしていればよいというものではない。要は、ウイルスを持っているかもしれないから、人にうつさないようにマスクをするのだという意識を持って、いわゆる感染症に対する知識が今後もしっかり根付いていって、かからなくても済む感染症にかからないように子供たちが育ってくれると、この体験も無駄にならないのではないかと思う。

(委員)

コロナ対策として、図書カードの配布や寺子屋の実施など、多くの努力をしてく

だったこと、そして、この夏までにすべての普通教室にエアコンの設置が間に合ったことは、本当に良かったと思う。各学校においては、室内の換気や猛暑の中での登下校に対する的確な指導などがあったと聞いている。子供たちの健康面に対するいろいろな配慮をしていただいたおかげで、大きな問題もなく秋を迎えることができたのではないかと思います、感謝している。

先の見えないコロナ禍ではあるが、教育委員会と現場の先生方の努力でなんとか乗り越えてくださるのではないかと、今後とも期待している。頑張っていたいただきたいと思っている。

(市長)

その他、よろしいか。新型コロナウイルス感染症に対しては、今後も市長部局と教育委員会、学校、地域とでしっかりと連携させていただきながら、様々な対策に取り組んでいきたいと思う。また、お気づきの点等あったら、ぜひ御意見・御助言をいただきたいと思う。

(教育長)

総合教育会議の中でどうかと思うが、先日教職員の逮捕に関するコメントを出させていただいている。御心配を掛けているが、少し報告させていただく。このたびコロナ禍において、各学校が子供たちの安全安心を第一に教育活動に取り組む中、10月4日の日曜日、報道にあったように、本市中学校教頭山本英仁53歳が、未成年者誘拐逮捕監禁容疑で逮捕されたことは、誠に信じられないことである。これが事実であるならば、極めて遺憾であり、児童生徒、保護者を始め市民の皆様への学校教育に対する信頼を著しく失うことになる。世間をお騒がせし、多くの方々に御心配や御迷惑をお掛けして申し訳ない。教育委員会では10月7日に臨時校長会、10月9日に教頭会を開催し、綱紀粛正の保持、服務規律の徹底に努めるよう指示をしたところである。合わせて管理職を筆頭に、教職員の誰もが不祥事を自分事として、温度差なく危機意識を持って受け止めなければ、不祥事はなくなること、学校教育への信頼を回復するために、市内のどの学校でも、地域の期待に応える学校づくりを地域総がかりで取り組むことを再度強調したところである。山本教頭は、未だに身柄を拘束されているままである。早急に我々としても、事実を確認して、県教育委員会と連携して、厳正に対応してまいりたいと思う。御心配と御迷惑をお掛けして、誠に申し訳ない。

(市長)

その他、委員の皆様から特にということがあれば、御発言していただきたいと思う。よろしいか。以上で予定していた会議の日程は、全て終了した。皆様方の御理解・御協力をいただき、無事進行をスムーズに運営することができた。また、教育

大綱（案）については、私の方で所定の手続きをして、後日、公表という形をとらせていただく。本日を無事迎えることができたことを、改めて心から感謝申し上げます。

#### 4 開会